ほけんだより

向山小学校
令和元年５月３１日

～明るく☆仲良く☆根気よく～

麻疹（はしか）の感染予防について

仙台市で麻疹（はしか）の感染が確認されました。ご家庭においても，お子さんの健康状態の観察をお願いいたします。

【麻疹とは】

ウイルス性の感染症で潜伏期は主に８～１２日。感染力が強く，初期症状は発熱，咳などの風邪に似た症状が出た後，高熱や全身に赤い発疹が広がる。感染期間は，発熱出現前日から解熱後３日を経過するまで。疑わしい症状があり，受診するときは，あらかじめ電話により医療機関へ相談し，指示を受けてください。

Ｑ＆Ａ

Ｑ１　麻しんにかかると，どのような症状が出るのですか？また，症状が出た場合はどのようにするとよいのですか？

Ａ１　症状は，38℃程度の発熱や咳，鼻水といった風邪のような症状が２～4 日続き，その後 39℃以上の高熱とともに発しんが出現します。子供に比べて大人が麻しんにかかると，重症化することが多いようです。特に心配されるのは肺炎と脳炎です。年齢に関係なく合併症への注意が必要です。症状が出た場合は，あらかじめ医療機関に電話連絡してから受診してください。

Ｑ２　麻しんの感染経路について教えてください

Ａ２　麻しんは麻しんウイルスによっておこる感染症で，人から人へと感染します。広い体育館のような場所であっても，その中に麻しんの患者がいると，そこにいる全員の人が麻しんウイルスを吸い込んでしまうほど強い感染力を持っているといわれています。感染経路としては空気感染のほか，飛沫感染や接触感染など様々な経路があります。麻しんの免疫がない集団に１人の発症者がいるとすると，12～18 人の人が感染するとされています。（インフルエンザでは，1～2 人）

Ｑ３　麻しんの予防は，どのようにするとよいのですか？

Ａ３　麻しんは感染力が強く，空気感染もするので，手洗い，マスクだけでは予防できません。有効な予防方法は，あらかじめ麻しんのワクチンを接種し免疫を獲得しておくことです。免疫のない人が感染するとほぼ 100%発症します。まずは，母子手帳等を確認し，ご自身の予防接種歴を確認しましょう。

最新の発生状況については，仙台市公式ホームページで最新情報をご確認ください。